

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	埋伏智歯抜歯術の術後鎮痛で使用したアセトアミノフェンに対するオンダンセトロンの影響
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2022年1月1日から2026年12月31日までの期間に当院口腔再建外科または顎顔面口腔外科で全身麻酔下埋伏智歯抜歯術を行った患者さんが対象になります。
③概要	埋伏智歯抜歯術をうけた患者さんの中には術後にアセトアミノフェンのような鎮痛薬の投与が頻回に行われることがあります。また、埋伏智歯抜歯術は全身麻酔で行われることが多くなっており、その合併症として術後の悪心・嘔吐が知られています。その対策として制吐薬であるオンダンセトロンを術中に使用しています。今回の研究では全身麻酔および病棟で鎮痛薬がどのくらい使用されていたか、また、全身麻酔での鎮痛薬やオンダンセトロンの使用状況が病棟での鎮痛薬の使用状況に影響があるのかを調査、解析します。
④申請番号	2025-0379
⑤研究の目的・意義	当院で行われた埋伏智歯抜歯術での全身麻酔時および術後の鎮痛薬の使用状況、ならびに全身麻酔時のオンダンセトロンの使用状況を検討し、現在の術後の疼痛管理方法および術後の悪心・嘔吐管理方法が適切であるかを評価します。この結果から、今後同様の治療を受けた患者さんにより良い術後疼痛管理、術後悪心・嘔吐管理を行うことが可能であると考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテおよび麻酔記録から得られたデータは全身麻酔時および術後に病棟で使用した鎮痛薬の使用状況、ならびに全身麻酔時に使用したオンダンセトロンの使用状況を分析するために使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、身長、体重、病棟での鎮痛薬の使用状況）、麻酔記録（全身麻酔時の鎮痛薬およびオンダンセトロンの使用状況）
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学大学院 歯科麻酔学分野 助教 倉田行伸
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院 歯科麻酔学分野 助教 倉田行伸
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記

にご連絡をお願いします。

所属：新潟大学大学院 歯科麻酔学分野

氏名：倉田行伸

Tel：025-227-2971

E-mail：kurata@dent.niigata-u.ac.jp